

重点分野の目標の達成状況

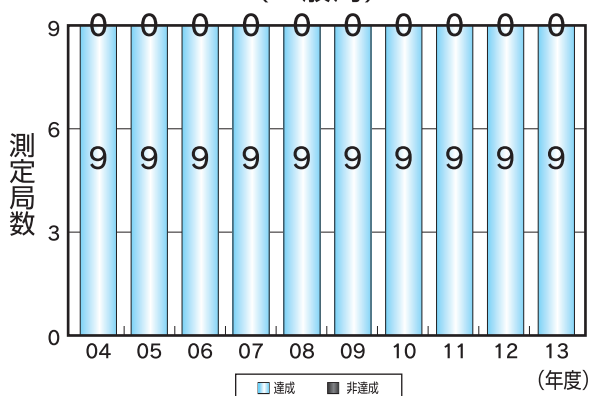
次の大気汚染物質の環境基準等の達成状況

- ①二酸化窒素：2015年までのできるだけ早期に、二酸化窒素濃度について全測定局で対策目標の達成を目指す。達成後は当面の目標として、対策目標値の下限値の0.04ppm又はそれ以下を目指す。
⇒対策目標値達成局数は9局（一般局）、9局（自排局）
- ②光化学オキシダント：環境基準の達成を目指すとともに、当面の目標として光化学スモッグ注意報の発令日数0日を目指す。
⇒光化学スモッグ注意報発令日数は11日
- ③微小粒子状物質（PM2.5）：環境基準の早期達成を目指す。
⇒環境基準は、一般局で6局全局、自排局で5局全局で非達成

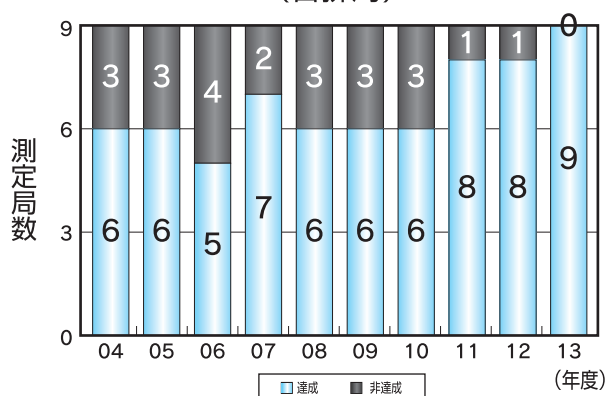
二酸化窒素

対策目標値の達成状況は、一般環境大気測定局（「一般局」という。）9局全局、自動車排出ガス測定局（「自排局」という。）、9局全局で達成しました。前年度に比べ、対策目標値の達成局数は、一般局では引き続き全局達成で、自排局では1局増加となりました。

二酸化窒素の対策目標値達成局数の推移
（一般局）



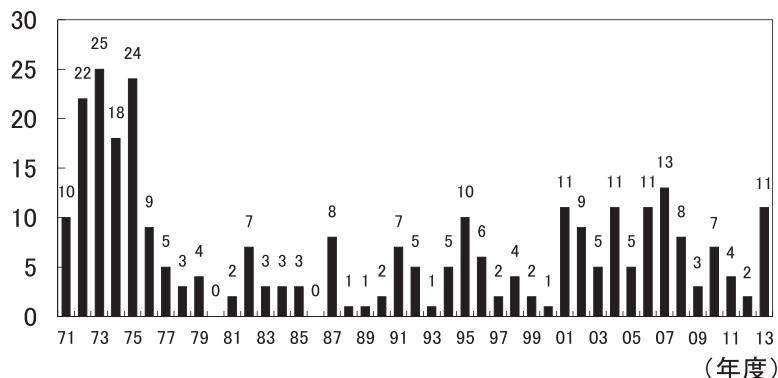
二酸化窒素の対策目標値達成局数の推移
（自排局）



光化学オキシダント

環境基準の達成状況は、一般局全局（9局）で非達成でした。光化学スモッグ発令日数は、注意報が11日、警報及び重大警報は0日でした。注意報は、前年度に比べ増加し、健康被害の届出は、15人でした。

（回） 光化学スモッグ注意報の発令回数の推移



微小粒子状物質（PM2.5）

環境基準は、一般局6局全局、自排局5局全局で非達成でした。